

教育委員会議事録

令和3年11月定例会

海老名市教育委員会

教育委員会議事録
(令和3年11月定例会)

- 1 日 付 令和3年11月19日(金)
- 2 場 所 えびなこどもセンター201会議室
- 3 出席委員 教育長 伊藤 文康 教育委員 平井 照江
教育委員 酒井 道子 教育委員 濱田 望
- 4 出席職員 教育部長 伊藤 修 教育部次長 澤田 英之
教育部専任参事 萩原 明美 教育部参事兼教育総務課長 中込 紀美子
教育総務課文化財担当課長 押方 みはる 就学支援課長兼指導主事 小林 丈記
教育部参事兼教育支援課長兼指導主事 坂野 千幸 教育支援課教育支援担当課長兼指導主事 浅井 大輔
学び支援課長 山田 敦司 教育総務課施設係長 瀬戸 圭一
- 5 書 記 教育総務課課長補佐兼総務係長 栗本 欣幸 教育総務課主事 湊 大輝
- 6 開会時刻 午後2時00分
- 7 付議事件
日程第1 報告第22号 令和3年度海老名市一般会計補正予算(第8号)のうち教育に係る部分に関する意見の申し出について
日程第2 議案第41号 令和3年度海老名市一般会計補正予算(第9号)のうち教育に係る部分に関する意見の申し出について
- 8 閉会時刻 午後3時30分

○伊藤教育長 本日の出席委員は私を含め4名でございます。武井委員は所用によりご欠席ですが、定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。これより、教育委員会11月定例会を開会いたします。

本日は傍聴希望者がございます。教育委員会会議規則第19条に規定されているので、傍聴を許可したいと思います。ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、傍聴を許可します。傍聴者を入室させてください。

今会の署名委員は、濱田委員、平井委員に、それぞれよろしく申し上げます。

○伊藤教育長 それでは初めに、**教育長報告**をいたします。主な事業報告でございます。

10月29日（金）は、教育委員会10月定例会がございました。

30日（土）は、文化スポーツ賞授賞式ということで出席しました。海老名中学校吹奏楽部が全国大会で金賞ということで、文化大賞でした。今泉中学校合唱部が関東大会出場ということで、文化輝き賞を受賞されました。ほかにも海西中学校の陸上部が神奈川県内で非常に素晴らしい成績を取って、文化スポーツ輝き賞を受賞したところでございます。

31日（日）は、海老名市市制施行50周年記念事業チケット交換対応ということで、海老名駅前で、海老名も本当に人がたくさん通るようになったなと思いながら、子どもたちにチケットを配っていました。面白いのは、子どもたち、ロマンスカーミュージアムのチケットをもらって、「やったあ」とか言って、小躍りするのですよ。中学生はさすがにそこまでしないのですが、教育専門指導員が作ってくれた台紙に入っていて、開けると、「すげえじゃん」と言うので、本当に子どもたちに喜んでもらえてよかったなと思ったところでございます。

11月1日（月）は、海老名市市制施行50周年記念式典がございました。皆さんにもご出席または賞状を受けていただいたところでございます。その日、ありまdeウォーク視察ということで、学び支援課が企画したのですが、有馬図書館から高座クリーンセンター環境プラザまでの行き帰りの間、レタスやお花を育てている農家さんのところでもぎ取りの体験とか、自分で好きな色の花を選んで持って帰れるということで、有馬地区の方々に本当にご協力いただいて、参加した子どもたちは本当に楽しそうで、うれしく思っているところでございます。その様子を見て、学び支援課、これは1年で終わる事業にしてしまっ

良いのかなと思ったところでございます。午後にはポニー赤ちゃん命名式に出席しました。ポニーの赤ちゃんはココアちゃんと名前が決まったところでございます。その日は海老名市立小中学校休業日でございます。

2日（火）は、朝のあいさつ運動（中新田小学校）に行きました。学校予算調整会議ということで、11月校長会議の前に校長会と学校予算について、学校要望について、今このような状況であるということで説明をしたところでございます。その日は、よりよい授業づくり特別版（杉久保小学校）で授業研究がありました。

3日（水）は、同じように海老名市市制施行50周年記念事業チケット交換対応をしました。

4日（木）は、今年の全国学力・学習状況調査考察資料報告会ということで、指導係を中心に指導主事から報告を受けました。週部会がありました。

5日（金）は、連合運動会実行委員会がありまして、次年度以降、どうするか、ほとんどの教職員にアンケートを取って、次年度以降も継続する。ただし、その形については様々工夫して行うという結論が出たとのことでございます。続いて、児童画コンクール作品市内医療機関掲示視察ということで、海老名メディカルプラザに夏の児童画コンクールで賞を贈られる作品、掲示し切れないので、コピーしたものが飾ってあります。できれば、この後、様々な医療機関に貼って、運用していきたいなと思っています。子どもたちの絵の力で、体の調子が悪い人たちの心がほっとするようなものになればなと思って行っているところでございます。

8日（月）は、和座海綾教職員管理職組合代表者面会がありました。なぜこの方々が来るかという、退職した校長先生、教頭先生を中心に、退職後にどんな仕事をするかについて、その希望を持ってくるということでございます。同じ日に、不登校支援団体連絡協議会と初めて連絡会を開きました。海老名市または座間市も含めて、不登校を支援している多くの団体の方々がいらっしゃって、そこで情報交換ができたことは、初めての試みですが、第一歩を踏み出せたかなと思っていますところでございます。それから、9日寒冷前線による大雨対応部内打合せということで、結果としては大雨ではなくて、何とかなったところでございます。

9日（火）は、朝早くにうちの職員に集まっていただいて、大雨対応（登校判断・通学路巡視）を行ったところでございます。

10日（水）は、初任者授業参観（門沢橋小学校）、小学校食育担当者会議に行つて挨拶

をしました。そして週部会がございました。

裏面に行きまして、11日（木）は、学校保健研究協議会（オンライン）でございます。

12日（金）は、市議会11月臨時会が行われました。そこで、新聞等でも報道されていますが、久保田英賢議員が市議会議長、永井浩介議員が副議長になったところがございます。長野県中野市教育委員会図書館視察対応をいたしました。海老名市肢体不自由児・者父母の会代表者面会、毎年、愛の絵はがき・友情の絵はがき、クリアファイル等を販売して、半分は寄附というか、運営資金にするという意味で、その対応をしたところがございます。それから、県費負担教職員人事上の対応とは、この間、交通事故を起こした市内教職員2名に対して口頭訓告という形で私から措置したところがございます。

13日（土）は、図書館を使った調べる学習コンクール表彰式がありました。史跡相模国分寺跡国指定100周年記念講演会がレンブラントホテル海老名で行われました。文化財担当課長がまた著名な方々を2人ほどお呼びして、すばらしい講演会になりました。その会場だけでなく、オンラインでも行ったということで、文化財系の講演会は毎年行っているのですが、文化財を愛しているとか関心のある人が本当に多いことを改めて知ったところがございます。夕方、単P会長会があつて、その後、この日、花火が市内3か所で上がったと思いますが、海老名青年会議所「えびフェス」というイベントに参加したところがございます。

15日（月）は、初任者授業参観（柏ヶ谷小学校）に行きました。また、教育課題研究会で皆さんに来ていただいたところがございます。

16日（火）は、拠点校指導教員連絡会ということで、各学校に在籍して初任者の指導に当たっている担当の先生方の連絡会がありました。その後、最高経営会議がありました。終了後に新型コロナウイルス感染症対策本部会議があつたところがございます。

17日（水）は、初任者授業参観（大谷小学校）に行きました。そして、週部会がありました。

18日（木）は、11月教頭会議の対応をして、その後、学校・地域ネットワークづくり運営委員会に出席しました。中新田小学校において現地視察ということで、中新田小学校のあそびっ子とまなびっ子と学童保育クラブを委員さんと視察したところがございます。

19日（金）は、本日ですが、午前中に初任者授業参観（社家小学校）で2名の初任者の授業を見たのですが、実は私が有馬中学校にいたときの生徒2名なのです。何かうれしいような、恥ずかしいような、元校長がそんな偉そうになんていう感じなのですが、よく頑

張っていたのでありがたいなと思いました。また、教育委員今泉小学校増築校舎工事現場視察をしたところでございます。海老名の新しい形の校舎ということで、教育の学習形態自体、これまでと違ったものを生み出す環境となるということで、今後に期待して、2月には完成する予定ですので、本当に楽しみにしているところでございます。今年の6年生が卒業前にその校舎に入って卒業できることを校長先生は考えているみたいですので、それが実現できればなと思っているところでございます。そして、教育委員会11月定例会でございます。

それでは、主な事業報告について、ご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。

○酒井委員 50周年記念事業チケット交換対応のことです。駅前で交換対応をされた職員の皆様方、本当にお疲れさまでした。皆さんにとっても喜んでいただいたと思うのですが、引換えは順調で、特に問題はなかったでしょうか。全員の手元にいったかどうかとか、教えていただけますか。

○教育支援課長 酒井委員、お声かけくださりまして、本当にありがとうございます。都合4日間、引換えを行ったのですが、引き換えたロマンスカーミュージアムの入場券が約4,200枚で、T O H Oシネマズの映画券は約2,200枚という形で、ほとんど引き換えてはもらえたのですが、いろいろな都合で来られなかった方は何人かいらっしゃいまして、それに関しては、後日、こどもセンターに引換券を持ってきたら記念品と交換しますという形にしてありますので、その後、順調に結構な人数が来てくださっています。

○平井委員 50周年記念式典なのですが、感想を含めて。このたび、私、表彰していただいてありがとうございます。

○伊藤教育長 おめでとうございます。

○平井委員 50周年ということで本当に大きな記念式典だったと思います。感想として、市の方たちの細やかな仕事の様子から、海老名市の職員の方々の底力を見させていただいた気がしました。皆さんが活動される場はなかなか見る機会がないのですが、大きな場所で若い方から経験がある方たちまで細やかなお仕事をしてくださいました。声かけもしてくださいましたし、きっと1年がかりで計画を進めてくださったのではないかなと思います。そういうスムーズな流れの中で、すばらしい式典を挙行してくださったことに私は非常に感激いたしました。職員の方は若い人たちがきっと多いと思うのですが、心配りもできていましたし、これからの海老名が良い行政として成り立っていくのではないかなと思いました。改めてそういう思いにさせていただいた、良い式典でした。

○伊藤教育長 職員の皆さん、お疲れさまでございました。

○濱田委員 前日は選挙の対応もありましたから。

○伊藤教育長 前日は衆議院議員選挙で、市職員は選挙事務にも従事しましたので、その明けでよくやってくれたとは私も思っているところでございます。

○濱田委員 11月5日に行われた連合運動会実行委員会の中で、今後も継続されるというお話を先ほどされましたが、このような工夫をしていこうという提案等はあったのでしょうか。今までの流れの中から変えていこうという動きが出ているのかどうか、何か情報がありましたら教えてください。

○教育支援課長 この機会に形を少し変えていこうという案は出されました。今までは午前中に100メートル走を全員必ず行って、それとは別に選択種目、午後にレクリエーションを行っていたのですが、それだと選択種目の間の待ち時間が長い等、いろいろな課題も見えてまいりました。そこで、来年度は、その時間を短縮するためにも、午前中の選択種目の代わりに全員参加できる他校との交流種目のようなものやってみるのはどうかということでも話し合いが進んでおります。

○濱田委員 分かりました。ありがとうございます。

○伊藤教育長 待っている時間が長いので、子どもたちが活動する時間を工夫しようということでございます。

○平井委員 初任者授業参観をここのところ行っていますが、採用から半年以上過ぎて、初任者の先生方の様子はいかがでしょうか。教育長が見られた感じで何かあれば。

○伊藤教育長 私の目から見ると、これから40年以上仕事、要するに教職に携わるだろうと。自分の選択ではありますが、その初めの一步、1年目で、授業そのものを評価するとしたら、やはりなかなか上手いかなと思うのですよ。

ただ、私が授業参観をしていて、授業の指導技術が上手いか下手かではなく、子どもたちとその先生がふだんどういう関わりをしているか、結果としてそれが授業に現れているかという部分をずっと見ているのです。前から、ほとんどずっと子どもの顔を見ています。子どもたちがどんなリアクション、どのように先生を見つめているというか、先生の言葉、投げかけに答えようとしているかを見ているのですが、それは簡単に言うと、若い先生でも、経験のある先生でも、普段子どもたちとどう関わっているかなのです。例えば、休み時間とか、給食の時間とか、授業以外の時間でどう関わっているかが大きく左右します。そうすると、その時間で子どもたちのことを思って関わっている先生だと、子ど

もたちは先生の方をよく見るのですよ。先生の授業がうまくいなくても、多くの人が見に来ているから、何とか先生のために頑張ろうと気持ちを出すのです。だから、それが出ているかなというのを私は確かめるのです。今年の初任の教員たちを見ると、ふだん子どもたちによく関わっているなど分かりました。子どもが必死に授業を受けていましたので。僕の先生、私の先生を、多分偉そうな人が見に来ているから、あの人に褒めてもらったほうが良いだろうと思って、力を発揮するという子どもたちの姿が見えると、ああ、この先生は大丈夫だなと思うのです。

教員は、どう子どもと関わるかによって学級経営をするわけですが、それをおろそかにして、先生が必死になって前に立っているのに、子どもたちに協力しようとする気持ちがないと、あっ、ちょっとこれはまずいかなと思ったりすることもあります。そういう意味で言うと、今年の教員たちは子どもたちが先生のために頑張っています。それが私の印象です。

○平井委員 普通の状況の中ではない教育ですよ。コロナ禍ですから。初任の人にとってはいろいろな形で大変かなとも思うのですが、今のお話を聞いて、一生懸命頑張って、海老名の子どもたちを育ててくださったらうれしいなと思います。

○酒井委員 もう1点、8日の不登校支援団体連絡協議会ではどんなお話があったか、少し教えていただきたいと思います。

○教育支援担当課長 初めて行われた不登校支援団体連絡協議会なのですが、不登校のお子さんが増えてきている中で、学校あるいはびなる一む等でやっている部分もあるのですが、それ以外でもそのような子どもたちが学べる場を広げていくことを目的に、同じ目的を持って支援していきましょうという共通理解をしながら、情報交換していこうという目的で開いております。今回は9団体にお声かけしまして、毎年フリースクール、フリースペースの方々や不登校のお子さんを抱えた親の会の方々、または療育や学童保育クラブの代表の方々に声をおかけして、不登校支援についての情報交換をしながら、今後どのように進めていこうかということをお話することができました。また、2月以降に2回目を開いて、深い話をしていければと思っているところでございます。

○酒井委員 分かりました。

○伊藤教育長 9団体に声をかけて、何団体が来てくださったのですか。

○教育支援担当課長 9団体にお声がけして、7団体が来られました。

○伊藤教育長 その団体はそれぞれに支援しているのですが、その中でも本当にボランテ

ィアの団体もあるし、お金を取っている団体もあるので、その横のつながりはこれまでほとんどありませんでした。同じ仲間で、形態は違っても、そういう人たちがこれだけ市内または座間市も含めているのだということで、これからその横の連携を深めていければとは思っているところでございます。

○酒井委員 また2回目の会議を開いたら状況を教えていただければと思います。

○伊藤教育長 それではよろしいでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 では、2点目は、『教育は人なり』と書いています。教育の分野ではこの言葉は金言のように広まっています。教育をする人たちは人との関わりを生業としています。子どもと大人との関わりがその基本になるので、そういう意味で、そこに関わる大人、要するに教員の人柄が全てである、人が全てであるという意味を含んでいます。これについては、私自身としても、私が教育に携わって良いのだろうかという自問自答は常にあるのですが、それとは別に、子どもたちの側からすると、これはすごいことなのです。家庭教育、学校教育、社会教育と分けると、子どもには実は選択肢は余りなくて、どんな家庭で生まれるかというのがその子の定めというか、そんな重いものではないですが、そこでその子が何を享受するかと考えたときに、学習というのは、ある程度自立した後には学問を追求するという意味で、個別に関わって、個別に自分で努力することはできるのです。

ただ、人の生き方というのは、子どもたちは模倣というか、実体験が子どもたちの教育の中の全てなので、どんな家庭で育つか、どんな保護者の中でその子が生活するかで決まってくるのです。さらに、学校はもっと影響が大きく、1年間のうち200日以上で9年間そこで過ごすのですよ。そしてその前にはいつも教員が立っているのです。ということは、1年間、200日以上も、ある大人、例えば担任の先生という定まった人にずっと目がいつているのです。

もう1つが地域で、どんな地域で大人に関われるかです。近所の方もいらっしゃいます。例えば趣味で野球やサッカーなど、様々習い事をしている講師の方もいらっしゃいます。そういう大人と関わるということです。その中で子どもたちが学んでいくのですよね。だから、そうやって考えると、私自身もすごく考えさせられるのですよ。例えば自分が初任者のときに関わった子どもたちにどんな授業ができていたのだろうか、10年後になって、少し教育のことが見えてきたときに自分が授業として関わった子はどのようになっ

たのだろうか。30年後は私は市役所にいたのですが、そうやって考えたときに、では、初任者、初めての若い先生に子どもたちが学ぶものは何かな、10年後のベテランの先生に学ぶことは何かなと考えるのですよ。子どもたちに示せるものは、学校だったら、その先生が子どもたちのために少しでも良い授業をしようと思って、一生懸命勉強して、努力している姿を見せるとか、または職員室の教員がみんなで良い学校をつくろうとか、運動会をやりませんが、子どもたちをもっと楽しませてあげよう、子どもたちが喜ぶような運動会をしようとして、みんなで話し合っ何かをつくり上げようとする前向きな姿勢でしかなくて。だから、ある意味で言うと、それは年代などに限らず、人がより良く生きようとか、より良い社会をつくろうとする姿を子どもたちに大人が見せられるかなと思ったときに、それは教員だけの世界ではなくて、社会で生きている大人たちが全ての子どもたちに対して、自分は「教育は人なり」の1つの立場なのだと思って生活してほしいとか、生き方を示してほしいなというのが、ちょっと崇高ですが、私がここで言いたかったことなのですよ。

でも、そのきっかけは、初任者の先生が子どもたちに与えられるものとベテランの先生が与えられるものを考えたときに、それは指導技術ではなくて、実は人の姿勢というか、より良くなるようとか、より良い教室をつくろうとか、よりよい学校をつくる。それを示すことだなと。そうやって考えると、子どもにとっては大人全体が教育者であって、大人全体がそういう意識を持ちながら生活したりすることが大事なのかなということを考えました、ということがここに書いてあることとございます。だから、子どもたちにしてみれば、先輩の方々には、楽しく生活してほしいとか、豊かに生活してほしい、そんな姿を子どもたちに見せてほしいなというふうに考えたということがここに書いてあります。「教育は人なり」なのですが、大人たちはみんな「人なり」ということとございます。以上でございます。

これについてはよろしいですね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、教育長報告はこの程度とさせていただきます。

○伊藤教育長 それでは、報告事項に入ります。

日程第1、報告第22号、令和3年度海老名市一般会計補正予算（第8号）のうち教育に係る部分に関する意見の申し出についてを議題といたします。

説明をお願いします。

○**教育部長** それでは、資料1ページをお開きください。報告第22号、令和3年度海老名市一般会計補正予算（第8号）のうち教育に係る部分に関する意見の申し出についてでございます。本件につきまして、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第3条第1項の規定により臨時に代理し申し出をしたので、同条第2項の規定により報告するものでございます。

資料をおめくりいただきまして、3ページをご覧ください。令和3年度海老名市一般会計補正予算（第8号）のうち教育に係る部分に関する意見の申し出についてということで、令和3年度海老名市一般会計補正予算（第8号）につきましては、過日開催されました令和3年第4回海老名市議会臨時会におきまして議案として上程されて、可決されたものでございます。本件は、議会の議決を経るべき事件がございましたので、海老名市長から教育に係る部分についての意見照会の文書を受けたところです。

これを受けまして、11月4日付で市長から意見を求められましたが、補正予算案は11月12日の海老名市議会臨時会に上程する予定であったため、その対応に急施を要することから、教育長が臨時に代理し、申し出を行ったものでございます。

資料5ページが、令和3年11月4日付で、海老名市長から海老名市教育委員会宛ての令和3年度海老名市一般会計補正予算に関し意見を求めることについての文書でございます。

これを受けまして、市議会臨時会の前日、令和3年11月11日に教育長が臨時で代理いたしまして、令和3年度海老名市一般会計補正予算（第8号）に関し意見を求めることについて、異論はありませんという回答を行ったところでございます。

資料9ページからが令和3年度海老名市一般会計補正予算（第8号）【教育に関する部分】でございます。本件は、いずれも職員給与費の増額でございます。10款1項2目の中の職員給与費の欄をご覧ください。所管課は職員課でございます。補正額は867千円でございます。説明欄をご覧ください。令和3年4月から1年間の予定で、12%から11%と1%削減となっております地域手当を、令和3年12月より12%に戻すことに伴いまして、その不足額について増額するものでございます。同様の理由によりまして、小学校費の職員給与費の増額が49千円、中学校費の職員給与費の増額が38千円、おめくりいただきまして、社会教育費の職員給与費が256千円の増額となっております。

本件は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けまして、令和3年度の海老名市税の大

幅な減収が見込まれたこと、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、市として様々な施策を講じなければならなかったことから、職員給与のうち地域手当1%分を令和3年4月から削減されていたものでございます。令和3年度の海老名市税の見込み等を勘案いたしまして、12月から地域手当の率を11%から12%の元に戻すことに伴いまして、その不足額を増額するものでございます。

ここで、地域手当について簡単にご説明をさせていただきますと、こちらは我々市役所職員の給与のうちの手当として支給されているものでございます。地域手当というのは、地域によって生じてしまう地域の差を穴埋めする手当でありまして、例えば同じ公務員であっても、東京で勤務している公務員と地方で勤務している公務員では、それぞれ住む地域の物価、また、民間企業の賃金に大きな差がございまして、その穴埋めをするために支給されている手当です。地方公務員の地域手当の率は、基本的には国家公務員の率に準じて国が示しておりまして、一般的には0%から20%の範囲内で示されております。国が示している海老名市の地域手当の率は12%でございまして、通常この12%が支給されておりますが、先ほどご説明申し上げましたとおり、令和3年4月以降、コロナ禍の影響に鑑みまして11%に引下げを行ってまいりました。この地域手当の率を12月以降は12%に戻すということに伴いまして、職員給与費を増額したというのが今回の補正予算の内容でございまして、

大変雑駁ですが、説明は以上でございまして。

○伊藤教育長 それでは、ただいま説明がございましたが、ご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。

コロナ禍で4月から地域手当を1%下げていたのですが、税収入等のこともあって、以前の12%に戻すと。その引上げのために職員給与費の補正が必要だということでの補正予算でございまして。

○平井委員 国の支給率は12%と決まっていますよね。今回11%、マイナス1%減なのですが、それは自治体の意見等は入らないのですか。1年ごとというか、状況に応じて、そういうことも可能なのですか。

○教育部長 国が示すのはあくまでも基準でありまして、その基準を受けまして、市では海老名市一般職の職員の給与に関する条例等、条例において地域手当の率を定めております。この地域手当の率は、国から示されておりますとおり12%で、条例上も12%と定めているのですが、条例の附則の中で、令和3年4月1日から支給する地域手当については

1%削減し、11%とするという改正を行いました。それは令和3年4月1日以前に行ったのですが、今回はその附則をさらに改正することによりまして、条例本則で規定されております12%の支給に戻すような内容でございます。

○平井委員 附則には書き込みがあるのですが、1年という期限はなくても大丈夫ということですか。

○教育部長 そのとおりでございます。条例の本則で12%と規定すれば、条例を改正しない限り12%が適用されます。また、国から示される地域手当の率につきましても毎年示されるわけではありませんで、国が地域手当の率の見直しを行って、新たな基準が示された際には改めて条例の本則を改正することになるかと思えます。また、国が示している率とそれぞれの市町村で示している率については、基本的には海老名市の場合は12%で同じなのですが、市町村によっては、国が示している率と異なる支給率で支給を行っている市町村もございます。

○伊藤教育長 ほかにはいかがですか。よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 職員給与に関わったもので、コロナ禍の状況の中で1度引き下げた地域手当がまた元に戻るということでご理解いただければと思います。

それでは、報告第22号を承認することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第1、報告第22号を承認いたします。

○伊藤教育長 続きまして、審議事項に入りますが、日程第2、議案第41号は、令和3年第4回海老名市議会定例会へ上程する予定の案件でございます。海老名市教育委員会会議規則第18条第1項第4号に該当することから、会議を非公開としたいと思えます。

それでは、会議の非公開について採決を行います。日程第2について会議を非公開とすることにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、日程第2を非公開といたします。

つきましては、傍聴人の方々はお退席をお願いいたします。

(非公開事件開始)

.....
(非公開事件終了)
.....

○伊藤教育長 以上をもちまして本日の日程は全て終了いたしましたので、教育委員会11月定例会を閉会いたします。